

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6556682号

(P6556682)

(45) 発行日 令和1年8月7日(2019. 8. 7)

(24) 登録日 令和1年7月19日(2019. 7. 19)

(51) Int. Cl.		F 1			
HO4S	1/00	(2006.01)	HO4S	1/00	500
HO4R	3/00	(2006.01)	HO4R	3/00	310
HO4S	7/00	(2006.01)	HO4S	7/00	340

請求項の数 5 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2016-202494 (P2016-202494)	(73) 特許権者	300004049
(22) 出願日	平成28年10月14日(2016.10.14)		株式会社ピー・ソフトハウス
(65) 公開番号	特開2018-64227 (P2018-64227A)		宮城県仙台市宮城野区宮城野一丁目12番1号
(43) 公開日	平成30年4月19日(2018.4.19)	(74) 代理人	110002147
審査請求日	平成30年7月24日(2018.7.24)		特許業務法人酒井国際特許事務所
		(72) 発明者	鈴木 陽一
			宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
			国立大学法人東北大学大学内
		(72) 発明者	坂本 修一
			宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
			国立大学法人東北大学大学内
		(72) 発明者	トレビーニョ ホルヘ
			宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
			国立大学法人東北大学大学内
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 立体音響信号再生装置、立体音響信号再生方法及び立体音響信号再生プログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

立体音響信号を生成して再生する立体音響信号再生装置であって、

第1の距離で測定された頭部伝達関数に対して方位角に沿ったフーリエ変換を行った後に、ハンケル関数を用いて前記第1の距離から第2の距離への変換処理を行い、さらに前記ハンケル関数の次数を変数とする逆フーリエ変換を行って前記第2の距離における頭部伝達関数を生成する第1の処理部と、

入力された音響信号に対して前記第2の距離における頭部伝達関数をフィルタとして適用して前記立体音響信号を生成する第2の処理部と、

を備えたことを特徴とする立体音響信号再生装置。

【請求項2】

前記ハンケル関数を用いて前記第1の距離から第2の距離への変換処理を行う際に、前記フーリエ変換によって生成された前記第1の距離における方位角スペクトルに対して、強度依存の閾値を用いてフィルタリングすることを特徴とする請求項1に記載の立体音響信号再生装置。

【請求項3】

立体音響信号を再生する立体音響信号再生方法であって、

第1の距離で測定された頭部伝達関数に対して方位角に沿ったフーリエ変換を行って前記第1の距離における方位角スペクトルを算出する第1ステップと、

前記第1の距離における方位角スペクトルに対してハンケル関数を用いて前記第1の距